

もくじ

- ・ おむすびころりん

おむすびころりん

げんさく 原作：にほん 日本むかしばなしの昔話

イラスト：かわの まほ

へんしゅう 編集：YellowBirdProject

3

むかしむかし、ある山^{やま}のふもとに、とてもなかの
良い、おじいさんとおばあさんが住^すんでいました。

ある日^ひ、おじいさんは山へたきぎを拾^{ひろ}いに出^でかけ
ました。お昼時^{ひるどき}になったので、おじいさんは懐^{ふところ}から
『おむすび』の入^{はい}った包^{つつ}みを取^とり出^だしました。

「ふう、どれどれ。ちょうど腹^{はら}もへってきたところ
だし、ここで昼飯^{ひるめし}でもとろうかな」

おじいさんが大^{おお}きく口^{くち}を開^あけて、おむすびを食^たべ
ようとしたその時^{とき}、ひざの上^{うえ}に置^おいていたおむすびが
ぼろっと落^おっこちて、そのままコロコロと転^{ころ}がって
いってしまいました。



5

「ああ、いかん。待てー！」

おじいさんは、あわてておむすびを追いかけました。

おむすびは山の斜面をコロコロと転がり続け、
やがて、木の根っこに空いていた穴の中に、すっぽりと落ちてしまったのです。

「あ～あ、もったいない、もったいない・・・」

おじいさんはがっかりしました。

すると穴の中から、不思議な歌が聞こえてきました。

